

第4学年・学習プログラム「公園と海洋ごみ」

- ◆ 学年 第4学年
- ◆ 教科等 総合的な学習の時間（関連教科等：国語、社会、特別の教科 道徳）
- ◆ 単元名 『落ちているごみからのメッセージ』
- ◆ 目標

落ちているごみに関心を持ち、調べたり交流したりする中でごみ問題についての理解を深め、これからの自分の行動や呼びかけを考えていこうとする態度を養う。

◆ 評価規準

- 落ちているごみの問題に気付き、どんなごみがどのようにして海に流出し、環境に影響を及ぼしているかを理解している。

【知識及び技能】

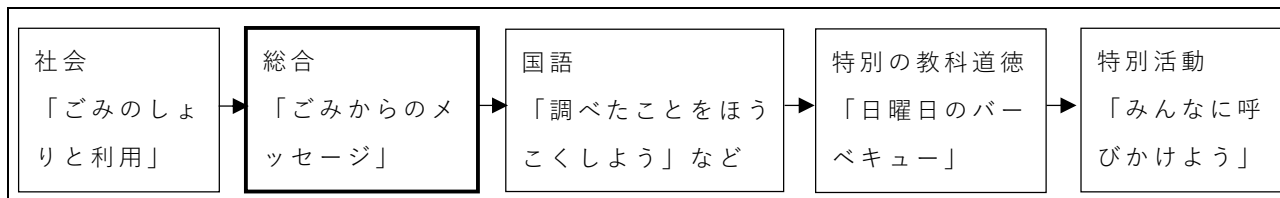
- 自分たちの暮らしと海洋ごみを結び付けて捉え、ごみを減らすにはどうすればよいかを考えている。

【思考力・判断力・表現力等】

- 落ちているごみに関心を持ち、調査活動を積極的に行い、これからの自分の行動や呼びかけを考えようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

◆ 他教科等との関連



※東京書籍4年の教科書及び年間指導計画作成資料を参考に作成。

◆ 単元計画 4時間扱い

段階	主な学習活動	予想される反応	留意点等
第1次 2時間	○ 単元名と学習問題1を捉える。	・ごみからのメッセージとはなんだろうか。	・近くの公園に落ちていたごみの写真を提示する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「落ちているごみからのメッセージ」 ○○公園にはどんなごみがどれくらい落ちているだろうか。 </div> ○ 予想を立てる。	・タバコの吸い殻	

<p>○ 公園のごみ拾いを行う。</p> <p>○ 仕分けを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで仕分ける。 ・全体でまとめる。 <p>○ 結果から分かること、考えられることを話し合う。</p> <p>○ 学習問題2を捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き缶、空き瓶 ・お菓子の袋 など <ul style="list-style-type: none"> ・空き缶、空き瓶 ・割れている瓶もある。 ・ペットボトル、ふた ・プラスチックが割れて散らばっている。 ・発泡スチロールがばらばらになったもの ・ビニール袋 ・かんだあとのガムがくっついている。 ・タバコのすいがら ・お菓子の袋 ・ゼリーの容器 ・レジ袋 ・遊んだ後の水風船 <ul style="list-style-type: none"> ・真ん中よりもベンチや草むらに多く落ちていた。 ・プラスチックのかけらは細かくて拾うのがたいへん。 ・子供たちが遊んでいるときに捨てていった。(自分も…) ・ゴミ箱がないから。 ・灰皿がないから。 ・ゴミを持ち帰る袋がないから。 ・だれかが拾ってくれている。 ・清掃工場ではゴミが処理されるけれど、落ちているゴミはどうなるのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備物：ごみ袋、軍手、ブルーシート ・割れた瓶などの危険物は教師が拾う。 ・拾ってきたごみは教師が水洗いをし、その後、仕分けをさせる。 ・ごみ拾いや水洗いなど、ストップ温暖化センターみやぎのスタッフが手伝うことも可能である。 ・仕分けをしたごみは写真に記録し、テレビ等に映して確認していく。 ・市民センターの方や町内会の人などがごみ拾いを行っていることにも気付かせたい。
<p>○ 予想を立てる。</p>	<p>公園に落ちていたごみは処理されずに、どうなっていくのだろうか。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・次の日に行くと落ちていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会「ごみのし

	<p>○ 海岸のごみ調べの方法を考える。</p>	<p>ので、だれかが拾ってくれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地面に埋まっていくのではない。 ・プラスチックは熱で溶けてしまうかもしれない。 ・軽いごみは強風で飛ばされる。 ・脇の用水路に落ちて、詰まる原因となる。 ・用水路から川に流れ、さらに海まで行くかもしれない。 ・みんなで海岸に行ってみる。 ・海岸のごみを調べている人がどこかにいないかなあ。 	<p>よりと利用」の学習を想起させる。</p> <p>・環境出前講話につなげていく。</p>
<p>第2次</p>	<p>環境出前講話 「海のごみを分けてみよう！～海洋ごみから学ぶ住みよいくらし～」</p>		
<p>2時間</p>	<p>○ 予想を伝える。</p> <p>○ 調査の内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつ、どこで、どうやって拾ってきたごみなのかを知る。 <p>○ 仕分けを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで仕分け ・全体でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・○月○日 ・若林区荒浜の深沼海岸 ・海岸に落ちていたごみ ・海から～mのところの砂を掘って出てきたごみ ・空き缶 ・ペットボトル、ふた ・割れたプラスチック ・細かい発泡スチロール ・ビニール袋 ・お菓子の包み ・ゼリーの容器 ・レジ袋 ・ロープ、ひも、つり糸 ・管のようなもの ・プラスチックのつぶ ・発泡スチロールが細かくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次の活動にスタッフが参加していない場合のみ行う。 ・調査の様子を映像で伝える。 ・準備物：軍手、ブルーシート、ルーペ ・海洋ごみはスタッフが事前に水洗い等を行う。 ・仕分けをしたごみは写真に記録し、テレビ等に映して確認していく。

	<p>○ 結果から分かること、考えられることを話し合う。</p> <p>○ 講師のコメント</p>	<p>もの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園に捨てられたごみと同じものがあつた。 ・公園に捨てられたごみは、海洋ごみになってしまう場合がある。 ・海の中を流れていたものが海岸に打ち寄せられた。 ・陸地のごみがどんどん細かくなっている。 ・海のごみは相当の量があるに違いない。 ・海の生き物が食べてしまうかもしれない。 ・やはり、公園のごみの一部も海までいっていたんだ。 ・マイクロプラスチックと言うんだ。 ・海の生き物たちが食べている。 ・魚を食べる自分たちはだいじょ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで行った公園のごみ調査と比較させる。
<p>ごみを減らすには、どうすればよいだろうか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・海洋ごみについてもっと知る。 ・公園などにごみを捨てないようにする。 ・捨てようとしている下学年の子に話す。 ・ごみ拾い活動を続けていく。 ・海岸の清掃活動に参加する。 ・ごみの問題を学校みんなに伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで出てきた意見の中から選択させる。
	<p>○ 学習問題 3 を捉える。</p> <p>○ ごみを減らすにはどうすればよいかを話し合う。</p> <p>○ 「自分にできること」と「呼びかけたこと」、学習感想として「落ちていたごみからのメッセージ」を考える。</p>		